

平成22年4月14日

四国地域の経済動向（概要） （平成22年2月分）

四国地域の経済は、一部に持ち直しの動きがみられる

- 生産** 鉱工業生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
鉱工業生産指数は、3カ月ぶりに前月を上回った。
- 個人消費** 個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられる。
大型小売店販売額(全店)は、15カ月連続で前年を下回った。
コンビニエンスストア(全店)の販売額等は、5カ月連続で前年を下回った。
家電販売は、携帯電話、空調などが前年を下回ったものの、テレビ、エアコンなどが前年を上回ったことから、全体では7カ月連続で前年を上回った。
乗用車新車新規登録・届出台数は、軽乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、小型乗用車が前年を上回ったことから、全体では8カ月連続で前年を上回った。
- 住宅投資** 新設住宅着工は、弱い動きとなっている。
新設住宅着工戸数は、分譲住宅、貸家、持家が前年を下回ったことから、全体では15カ月連続で前年を下回った。
- 倒産** 企業倒産は、横ばい傾向となっている。
倒産件数は、3カ月連続で前年を下回り、負債総額は、3カ月ぶりに前年を上回った。
- 雇用** 雇用情勢は、低水準で推移している。
有効求人倍率は、前月と同水準となり、一般新規求人数は、28カ月連続で前年を下回った。
- 公共工事** 公共工事は、持ち直しの動きがみられる。
公共工事請負金額は、6カ月ぶりに前年を下回った。

【四国の経済指標】

平成22年2月

	四 国		全 国			
	前月比(%)	前年同月比(%)	前月比(%)	前年同月比(%)		
鉱工業生産指数(17年=100、季節調整済)	94.0	2.2	15.6	91.3	0.9	31.3
鉱工業出荷指数(＂)	91.9	2.4	12.5	92.7	0.2	28.7
鉱工業在庫指数(＂)	96.6	6.2	8.8	95.5	1.0	7.7
大型小売店販売額(単位:億円)	363		2.8	14,018		3.4
(全店)			4.1			4.0
(既存店)						
乗用車新車新規登録・届出台数(単位:台)	13,854		26.8	395,588		21.9
新設住宅着工戸数(単位:戸)	1,389		12.3	56,527		9.3
輸出通関額(単位:億円)	876		4.6	51,279		45.3
輸入通関額(単位:億円)	915		33.8	44,783		29.5
企業倒産件数(単位:件)	25		32.4	1,090		17.2
有効求人倍率(季節調整済)	0.55	(前月差)	0.00)	0.47	(前月差)	0.01)
電力需要(大口需要)(単位:百万kwh)	610		5.7	21,224		17.7
公共工事請負金額(単位:億円)	224		14.6	5,790		8.8

前月比、前年同月比は、増減率を示す。

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済産業局総務企画部調査課 担当者：岡課長、村上補佐

電話：087-811-8509(直通)

四国経済産業局ホームページアドレス <http://www.shikoku.meti.go.jp>

管内経済指標の推移

